

29 年度：松浦武四郎記念館友の会活動内容



我々、友の会が植樹・育成管理している蝦夷山桜が、4本満開。

武四郎が北海道の弟子屈で一泊した時に、月夜に桜の木に雪が降る光景を詩に詠んでいます。

それがまさに、蝦夷山桜であります。

*さえわたる 月に起き出て ながむれば
花吹き混せて あわ雪ぞ ふる

武四郎の「久摺日誌」に描かれている。

○蝦夷山桜の撮影は 4 月 18 日

場所：武四郎記念館裏と小学校敷地内



**29年度
松浦武四郎記念館友の会総会**

時期：平成29年5月14日（日）

11時10分～12時30分

場所：松浦武四郎記念館会議室

出席者：会員41名

来賓：竹上松阪市長

竹田三雲地域振興局長

飯田会長の挨拶⇒



竹上市長の挨拶及び武四郎
誕生地の今後のお話

役員会の退任による新役員会の選任

唐津巳喜夫氏→出口孝次氏へ

議事は全て承認された後で、

その他に於いて、要望など活発な意見が出ましたので後日、役員会で検討する。



【伊勢街道と松浦武四郎コース】 ウォーキング

時期:平成 29 年 5 月 18 日(木) 9 時 30 分~11 時 30 分

* ウォーキング時間 1, 5H

(コース)松浦武四郎記念館→館内の武四郎歌碑→蝦夷山桜→小野江常夜燈→伊勢街道
屋号の町並み→真覚寺→武四郎誕生地→肥留常夜灯→月本の追分→正福寺→
松浦武四郎記念館へ

友の会会員の参加者: 中野館長含め 8 名参加 (内 2 名はサポーター)

* 出発前に、サポーターであり友の会会長が武四郎の話とコース概要の説明

松浦市は18日午前9時半から小野江町の松浦武四郎記念館を発着点に、「いきいき健康ウォーク」を実施。市民ら69人と、市ウォーキングサポーター(青木悟会長、43人)の12人が参加し、初夏の青空の下、往時をしのびながら伊勢街道を歩いた。

武四郎誕生地を巡る
伊勢街道5.3キロ
健康ウォーク



市森林公園での4月の第1回が雨天中止となり、実質本年度初めての開催となったこの日は、「伊勢街道・松浦武四郎コース」と名付けられた初級の5.3キロのコース。配布された反射材を肩から掛けて4グループに分

で行っている。市が作っている「まつさかいいきいきウォーキングマップ」に掲載のコースで、市内各地で年に10回ほど実施している。

グループに分かれて、武四郎記念館を出発して歩く参加者ら=小野江町で

夕刊三重

かれて、武四郎記念館を順に出発。雲出橋の常夜灯、松浦武四郎誕生地、肥留町の常夜灯、中林町の月本追分、嬉野小村町の正福寺などを巡り、記念館に戻った。各グループには同サポーターが付いて、各ポイントでエピソードやいわれなどを解説した。

サポーター会長の青木さん(72)「川井町」は「今日は最高の天気で、無事に事故なく、楽しんで歩いていただきた」と話していた。

武四郎ゆかり 松阪の地歩く

市民ら80人

松阪市のいきいき健康ウォーキングが18日、同市小野江町の松浦武四郎記念館を発着点にあり、市民ら約八十人が、地元出身の探検家で北海道の名付け親、松浦武四郎ゆかりの地を巡る五・三キロのコースを歩いた。

記念館友の会の会長も務める地元のウォーキングサポーター飯田秀さん(モモ)の案内で、



小野江小の卒業生が描いた武四郎にちなむ看板を見る参加者たち
松阪市小野江町で

武四郎が読み書きを教わった真覚寺や小野江常夜灯などを巡った。エソヤマザクラの前では「北海道原産で、武四郎がめでた」と聞き、写真に収めていた。

松阪の偉人たち展

オープニングセレモニー

時期：平成29年6月7日

会場：松阪市文化財センター

時間：10時～10時30分

- * テープカット
高島会長・飯田副会長
産業文化部：村林部長
原田積善会：世古理事



展示期間：6/7～6/11（5日間）

松浦武四郎コーナー

展示時間：9時～16時30分

- ・今回は武四郎が歩いた大杉谷を順番に写真9枚を展示
- ・友の会役員が案内説明



中日新聞

2017年(平成 29 年 6 月 8 日木曜日)発行

氏郷や武四郎の足跡たどる資料

松阪で展示

松阪市ゆかりの偉人を顕彰する第三回松阪の偉人たち展が七日、松阪市外五曲町の市文化財センターギャラリーで始まった。松坂城を築いた戦国武将蒲生氏郷や市出身の探検家松浦武四郎ら八人を中心に、資料や年表、遺品など三百余点を展示した。十一日まで。

明治時代の松阪商人、長谷川可同(一八六八―一九二五年)は初めて取り上げた。全国から餅の関連資料を収集し、自宅敷地に日本初の餅の博物館を開設計して公開していたこ

とをパネルで紹介した。

松浦武四郎(一八一八―一八八八年)については、六十九歳のときは大杉谷探査に焦点を当て、探査コースを八枚の写真でたどった。武四郎が立ち寄り、今ではダム湖に沈んだ集落のモノクロ写真も展示した。武四郎は蝦夷地探検で知られるが、松浦武四郎記念館友の会の飯田秀会長(七〇)は「県内も探検しており、武四郎の足跡を訪ねてほしい」と話す。



松阪市出身の実業家原田二郎の業績を紹介した年表や写真。松阪市文化財センターで

大杉谷の特別展示 (武四郎が明治 19 年に立ち寄った足跡)



友の会主催：特別講演

時期：平成 29 年 7 月 9 日(日)

演題：松浦武四郎と大杉谷

講師：佐藤貞夫先生

時間：10, 00～11, 30



最初に飯田会長から

演題について「武四郎と大杉谷」
の関わりをお話する。

参加者：65 名と満席

*事前に新聞で予告記事掲載



市政バスツアー

H29年9月15日(金)

参加人数：30名

工程

健康センターはるる⇒ひさご(昼食)⇒
小津安二郎資料室⇒道の駅飯高駅(買い物)
⇒帰宅(松浦武四郎記念館)

飯田会長が関わりのある ⇒
健康センター・小津安二郎について
バスの中で話をされる。



「健康センターはるる」で職員
から健康について話を聞いた後
でセンター内の案内と説明を
受ける。



小津安二郎資料室では、飯高オ
ーツ会岡本美夜さんから説明を
受ける

*熱のこもった話に熱心に耳を
傾けました。



飯田会長が地元小学校2年生児童53名と武四郎ゆかりの町探検を実施。



時期：平成29年9月29日（金）
武四郎が7歳の時に読み書きを学んだ「真覚寺」堂内に上がりお話を聞く。



金田一桜の案内と説明を受ける。
武四郎は此の場所で生まれ、幼少時代街道沿いに在る武四郎誕生地へ移る。

蝦夷山桜の前でお話を聞く
武四郎が愛した桜で、北海道しか育ちにくく現在12本が育っている。



「武四郎と大杉谷」視察ツアー

○武四郎の足跡を訪ねる

時期：H29年10月15日（日）

時間：9時30分～13時40分

後援：松浦武四郎記念館友の会

参加者：友の会役員5名含め25名

雨天の中、奥定宮の案内説明後に村田区長と写真撮影。大杉谷登山口付近へ有志が移動して絶景を眺める。



マイクロバスで、大杉大明神を見学した後は、ダム湖に沈んだ奥定宮や口定宮などバスの中から村田区長から詳しく案内ガイドを受ける

昼食は祈りの道公園に於いて食事後に、村田区長から武四郎と大杉谷について詳しく説明を受けました。

村田区長から、武四郎の足跡と展示写真についてお話の後、飯田会長の挨拶と友の会と大杉谷の関わりについて話がありました。



ふるさと川俣祭り 松阪の偉人たちが友情出演

タイムスリップした偉人たち

時期: H29、11、19(日)

場所: 飯高総合開発センター

出演者(松阪の偉人たち)

蒲生氏郷・三井高利

竹川竹斎・松浦武四郎

大谷嘉兵衛

*松浦武四郎記念館友の会

参加者: 6名



司会の小林典子さんが
各偉人の紹介

*飯田会長が武四郎役と
役員2名がアイヌ役で出演

武四郎がアイヌ役を前に業績など
話して、お客さんに伝える。

- ① 武四郎の紹介
- ② 武四郎の好きな事は・自慢話
- ③ 奥さんの名前は
- ④ 言い残した事など
- ⑤ 出演者個人の紹介



会員交流懇談会

時期：H29年12月10日（日）
11時15分～12時20分

今回で19回目を迎えた懇談会に、20数名の会員が参加して3グループに分かれ茶話会では気軽に話合いをして親睦を図る。



2017.12.10



2017.12.10

今年の活動から思い出話
友の会10周年記念事業の
行先など話し合い

昨年に引き続き29年度の
活動内容を14枚写真展示
10枚は松阪市ホームページ
で、後日全国発信予定

*住友理工からの助成金認定書
賞状を額に入れて展示。



2017.12.10